

県内女性初「がん薬物療法専門医」に認定

呼吸器・化学療法内科 助教 つばた ゆかり
津端 由佳里



当院呼吸器・化学療法内科の先生方および研修先でお世話になりました先生方のご指導のおかげで、2014年4月に日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医に認定されました。我が国のがん医療は、2006年のがん対策基本法の施行を契機に大きく変貌を遂げており、がん患者の高齢化や分子標的治療薬の目覚ましい進歩など、抗がん剤の専門家・がん診療の道先案内人としての腫瘍内科医の役割は大きく、今後ますますニーズが拡大するものと考えています。“県内女性初のこと”ということで、このような掲載の機会をいただいたわけですが、私自身は特に女性医師だから・・・ということあまり意識したことはなく、県内に8人いるがん薬物療法専門医の一人として、県内のがん診療のレベルアップに少しでも寄与できればと考えています。地域に抗がん剤治療でお困りの患者さんなどいらっしゃいましたら是非ご紹介ください。

問合せ先 呼吸器・化学療法内科 TEL 0853-20-2580

未来医療研究人材養成拠点形成事業 「地方と都会の大学連携ライフイノベーション」

地域医療政策学講座 教授 ひろせ まさひろ
廣瀬 昌博

臨床研究ワークショップを開催しました

近未来での地域包括ケアの実践現場では、日常の診療やケアでの課題や問題点を自ずから把握し、それに関する研究を遂行し、解決策を導出することができる能力 - リサーチマインド - を涵養することが不可欠です。昨年度は医療統計の講義を行いました。今年度は11月29日(土)30日(日)の2日間、臨床研究ワークショップを開催しました。今回は臨床研究を遂行する上で、もっとも基本的で重要な臨床計画書の作成方法でした。京都大学医療統計学佐藤俊哉教授は、医療統計学の側面から、京都大学臨床研究総合センター佐藤恵子准教授は医療倫理学の側面から、その作成方法を平易に解説して頂きました。

島根県医療経営セミナーを開催しました

本プログラムの一環として医療経営セミナーを12月20日(土)に開催しました。基調講演で厚生労働省老健局の迫井正深老人保健課長からわが国の社会保障、ならびに産業医科大学病院副院長松田晋哉教授から島根県に関する基本的事項についてお話を頂きました。シンポジウムでは島根県健康福祉部医療政策課の杉谷亮医療専門員、櫻井照久同仁会理事長、加藤節司仁寿会理事長ならびに津村弘人つむらファミリークリニック理事長により、医療経営あるいはケア提供の実状についてご報告があり、その後、介護保険改定による問題点やその方策など、多数の参加者から多岐にわたる活発な意見が交わされ、成功裏に終わることができました。



NEWS



CONTENTS

・すべての患者さんへの
ファーマシューティカル・ケアの提供を目指して
薬剤部長 直良 浩司

・県内女性初「がん薬物療法専門医」に認定

・未来医療研究人材養成拠点形成事業
「地方と都会の大学連携ライフイノベーション」

臨床研究ワークショップを開催しました
島根県医療経営セミナーを開催しました



すべての患者さんへの ファーマシューティカル・ケアの提供を目指して

薬剂部長 な お ら 直良 こ う し 浩司

● 病棟薬剂業務や薬剂師外来業務の展開

薬剂部では、入院患者さんに対して、入院から退院まで質の高いファーマシューティカル・ケアの提供ができるように、病棟への薬剂師の常駐化を進めています。病棟薬剂師が総合的な薬学的管理を実践することにより、図1に示すように薬物療法の適正化や医薬品安全管理につながる多くの薬学的介入を行っています。薬剂師常駐病棟の一つであるICUにおいては、当院クリニカルスキルアップセンターで研修した薬剂師がフィジカルアセスメントを通じた副作用モニタリングなどを実践しています。さらには、退院後の薬薬連携、病病連携が効果的に実施されるように退院時薬剂情報管理指導の拡大を図っています。

また、外来診療における患者指導や薬学的管理にも取り組んでいます。術前患者さんを対象とした周術期薬剂師外来、外来化学療法患者さんへの事前説明や施行時の副作用管理、糖尿病透析予防診療における薬剂師外来など、診療科と連携した業務を展開しています。

これらの業務を通じて、外来から入院、そして退院後の外来診療へとシームレスなファーマシューティカル・ケアを目指しています(図2)。

今年も当院が地域で果たすべき役割を十分認識し、地域の医療に一層貢献できる病院となるために日々改善に努める所存ですので、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

図1. 薬学的介入の内容

2014年1月~12月 計3,763件

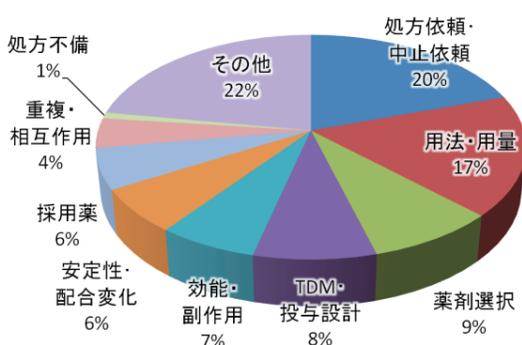


図2. シームレスなファーマシューティカル・ケアの提供

外来	入院	退院	外来
<ul style="list-style-type: none"> 薬剂師外来(術前、がん薬物療法、糖尿病透析予防など) 副作用モニタリング・アドヒアランスの確認 お薬手帳を用いた情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> 入院時面談・持参薬確認 薬物療法施行前の説明 薬物療法施行中・後の副作用モニタリング 服薬指導・アドヒアランスの確認 退院時指導 <ul style="list-style-type: none"> ・残薬調整、退院時処方服薬指導 ・お薬手帳を用いた情報提供 ・退院時共同指導 	<ul style="list-style-type: none"> 副作用モニタリング・アドヒアランスの確認 お薬手帳を用いた情報提供 保険薬局への情報提供 	

● 専門薬剂師・認定薬剂師の育成

がん治療、感染制御、緩和ケアなど専門性の高い多くの診療領域でチーム医療が展開されています。薬剂師は其中で薬物治療における処方提案や患者指導などを求められており、当院では専門領域の認定薬剂師の育成にも力を入れています。現在、表1に示すような幅広い分野で認定資格を有する薬剂師がチーム医療の中で活躍しています。

当院薬剂部は、日本医療薬学会の「がん専門薬剂師」、「薬物療法専門薬剂師」および日本病院薬剂師会の「がん薬物療法認定薬剂師」の研修施設であり、これまでに他医療機関から多くの薬剂師研修生を受け入れています。



抗がん剤ミキシングの様子

表1. 薬剂部に在籍する各学会等の専門・認定薬剂師

資格	保有薬剂師数
日本医療薬学会指導薬剂師	4名
日本臨床薬理学会指導薬剂師	1名
認定実務実習指導薬剂師	4名
がん専門薬剂師(がん指導薬剂師)	2名(1名)
がん薬物療法認定薬剂師	3名
緩和薬物療法認定薬剂師	2名
感染制御専門薬剂師	2名
インフェクションコントロールドクター	1名
NST専門療法士	2名
糖尿病療養指導士	2名
精神科薬物療法認定薬剂師	1名
小児薬物療法認定薬剂師	1名
認定CRC(臨床試験コーディネータ)	1名
医療情報技師	1名
漢方薬・生薬認定薬剂師	1名
公認スポーツファーマシスト	1名



服薬指導の様子

● 後発医薬品の使用促進

患者負担の軽減や医療保険財政改善のために厚生労働省が策定した「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」に基づいて、当院においても積極的に後発医薬品の採用を進めています。薬剂部医薬品情報管理室が中心となって後発医薬品に関する情報を収集し、情報に基づく採用医薬品の選定・提案を行っています。「ロードマップ」において設定されている新たな目標値である後発医薬品の数量シェア60%以上を達成すべく使用促進を進め、2014年11月には数量シェア69%となっています。当院で採用している後発医薬品の情報は病院ホームページで公開し随時更新していますので、ご参照ください(http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/kouhatsu_list.html)。また、後発医薬品使用促進の一環として、一般名処方による院外処方箋の発行を本年1月から開始しました。

ISO9001/品質マネジメントシステムの認証取得

当院薬剂部では品質マネジメントシステム(QMS)の審査を受け、2013年11月にJIS Q 9001:2008(ISO9001:2008)規格に適合しているとの認証を取得しました。QMSは製品やサービスの品質を管理するシステムであり、製造業などでは多くの企業が認証取得していますが、医療機関ではそれほど多くはありません。薬剂部では、「院内で調剤・調製された医薬品や製剤」および「服薬指導や薬物療法への薬学的介入などにおいて薬剂師が提供する情報」を品質管理の対象とし、PDCAサイクルを機能させることにより業務のレベルアップを図っています。





お知らせ

外来受診時の待ち時間調査を実施しました

当院で実施している外来患者アンケートにおいて、「外来受診時の待ち時間が長い」との意見が寄せられることがあります。このため、実態把握を目的とした待ち時間調査を昨年10月20日(月)から24日(金)にかけて実施しました。

調査は、予め調査ポイントを取り決めて、システム上の記録から待ち時間を集計しました。

その結果、「受付から診察開始」までの待ち時間については、約23%の患者さんが30分以内、約30%の患者さんが60分以内に診察が開始されていることが判明しました(図1)。また、「予約時間から診察開始」までの待ち時間については、約29%の患者さんが予約時間より早く、約37%の患者さんが予約時間から30分以内に診察が開始されていることが判明しました(図2)。何れのポイントにおいても、半数以上が60分以内に診察開始となっていることから、大きな遅延は生じていないと考えております。

しかし、一部の患者さんで待ち時間が延びていることも把握しておりますので、今後も定期的にこの調査を実施し、問題点の把握と改善を行い、待ち時間の短縮に努めます。

● 条件：予約患者(入院患者、予約外受診、予約時間超過後の受付患者は除く)
期間全体患者数：2,529人



図1. 受付～診察開始

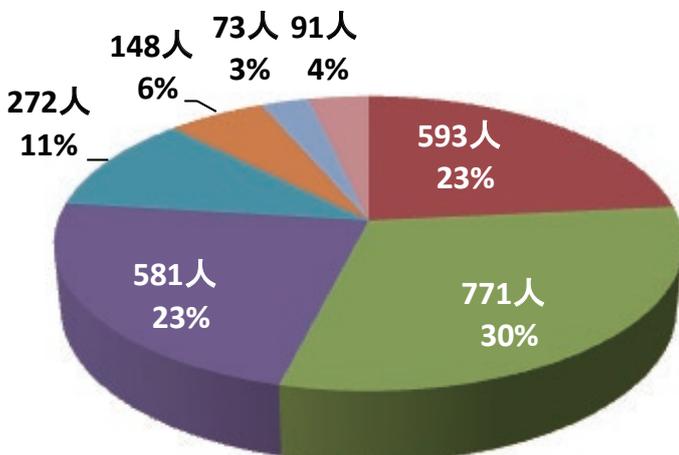
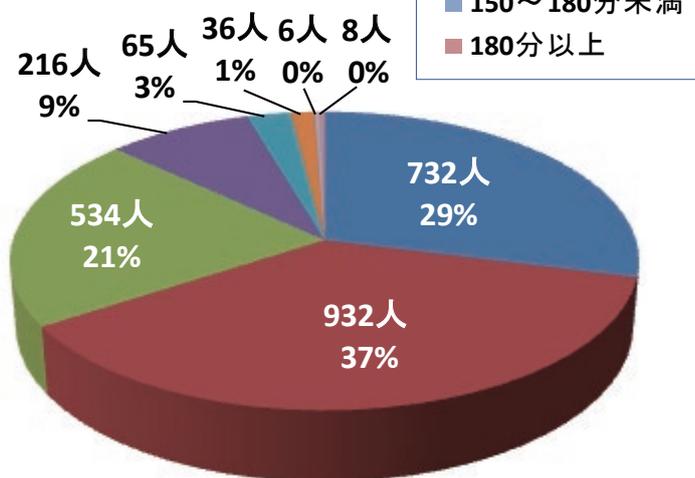


図2. 予約時間～診察開始





島大病院ニュース
2015年2月

お知らせ

「トゥワイライトセミナー」開催予定について

地域医療政策学講座 教授 ひろせ まさひろ
廣瀬 昌博

リサーチマインドを持った総合診療医の養成を目指す文部科学省未来医療研究人材養成拠点形成事業「地方と都会の大学連携ライフイノベーション」プログラム活動の一環として、9月から毎週火曜日に「トゥワイライトセミナー」を開催しています。その平成26年度末までの予定が決まりましたのでお知らせ致します。

さて、本プログラムの目的は、地域包括ケアシステムの構築とそのシステムを通じてリサーチマインドを持った総合診療医等の養成ですが、近未来での地域包括ケアの適切で円滑な提供には、医師はもとよりすべてのケア従事者のスキルの向上や知識の修得が不可欠です。そこで、トゥワイライトセミナーでは、総合医療、地域包括ケアについて、地域包括ケア従事者の誰もが関心を持てるよう、話題も豊富にしていますし、リサーチマインドを涵養するための臨床研究や医療統計などの講義も取り入れています。

また、研究といえば、大学で行うもので、診療やケアの実践より高い次元であるとの従来の考え方を変革し、日常の地域医療や包括ケアでの疑問や課題を解決する能力を持つことこそが、リサーチマインドであると考えています。従って、本プログラムでは、総合診療医・内科総合医育成コース、総合診療医指導者養成コース(博士課程)、地域包括ケア人材養成コース(修士課程)および地域包括ケア連携人材養成コース(インテンシブ)の4コースを開設しています。いずれかのコース登録者であれば全てのセミナーに参加することが可能です。

本セミナーは、県下の関連医療施設(裏面参照)に配信していますので、登録者の方がいらっしゃれば未登録者の方も受講可能です。

是非、多くの方に受講して頂きますよう、お願い致します。



「トゥワイライトセミナー」開催日 ※開始時間 18:30~

期日	タイトル(講義内容)	講師
H27.2.5(木) ※開始18:00	ジェネラリストのプロフェッショナルリズムと臨床研究	聖路加国際病院 院長 福井次矢
H27.2.17(火)	ビジョナリーホスピタル -地域医療構想から病院の経営目標へ-	産業医科大学病院 医療情報部 講師 村上玄樹
H27.2.24(火)	島根県立中央病院における総合診療と臨床研究	島根県立中央病院 感染症科部長 中村 嗣
H27.3.3(火)	Esthetic Dentistry for QOL	さいとう歯科医院 院長 齋藤 誠
H27.3.17(火)	地域包括ケアは機能するのかについての一考察	つむらファミリークリニック 院長 津村弘人

会場一覧【TV会議システム整備先】は裏面をご覧ください。➡

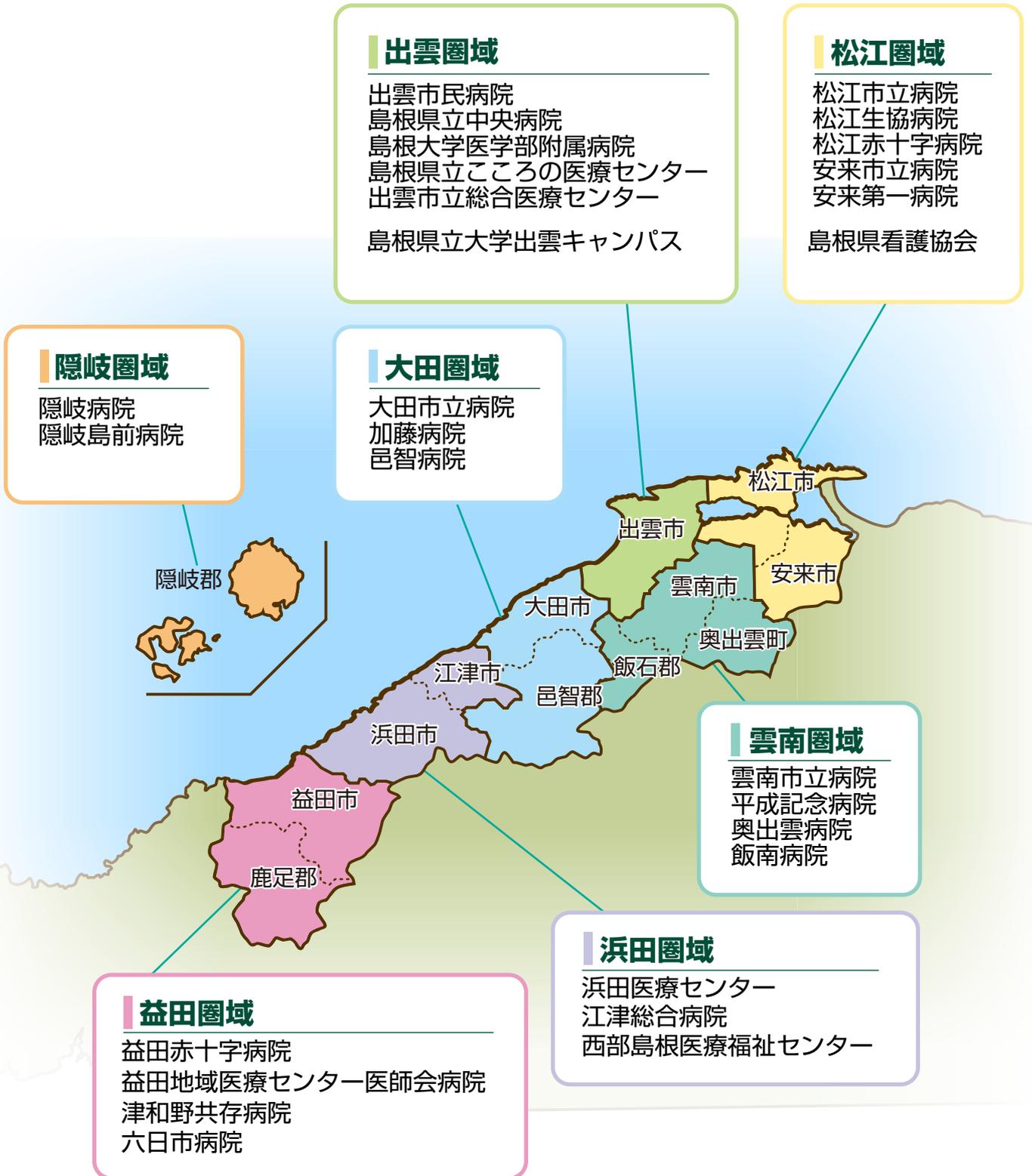
問合せ先 卒後臨床研修センター・地域包括ケアステーション TEL:0853-20-2006

お知らせ
島大病院ニュース

平成27年2月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL:0853-20-2068 FAX:0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



● 会場一覧【TV会議システム整備先】



※現在、邑智病院、津和野共存病院で受講可能です。その他の施設では、現在、受講可能となるよう準備中です。



島大病院ニュース
2015年2月

お知らせ

第5回島大総合医セミナー

飯塚病院 総合診療科

清田雅智先生を招いて

この度、第5回島大総合医セミナーを開催致します。前回に引き続き、飯塚病院総合診療科 清田雅智先生をお招きしてレクチャーと症例検討を行ないます。多数のご参加と活発な討論をお願い致します。

**参加費
無料**
事前申し込みは
不要です。



平成27年

2月20日(金)

18:00~20:00

於:ギャラクシー(みらい棟 4F)

1. レクチャー

『Vital Signs』

60分

2. 症例検討

60分

※2月20日のセミナーは島根県医師会指定の生涯教育講座 **2** 単位 です。

2月21日(土) 9:00~12:00

・**実地診療指導**

今回も当院ERに於いてwalk in patientを対象とする実地診療指導を行ないます。要領は20日のセミナー時に説明します。

本セミナーは、文部科学省「未来医療研究人材養成拠点形成事業“リサーチマインドを持った総合診療医の養成”」の一環として、継続的に開催いたします。島根における総合診療・救急医療のさらなる発展を目指して皆様のご意見、ご提案をお寄せください。

主催: 島根大学医学部附属病院 / 島根大学医学部医師会

問合せ先 (当番世話人): 呼吸器・化学療法内科 粟屋幸一 TEL:0853-23-2111(代) 内線:2580

お知らせ
島大病院ニュース

平成27年2月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL:0853-20-2068 FAX:0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース
2015年2月

お知らせ

無痛分娩はじめました!!

現在島根県内で行われている無痛分娩は、医学的適応のある妊婦さんだけが対象でしたが、最近では無痛分娩を希望するまたは興味があるという妊婦さんが増えています。この度、当院では患者さん希望の硬膜外無痛分娩を開始することとなりました。

メリット

- 陣痛に対する恐怖感が少なくなり、お産に前向きに準備できる
- 痛みによるパニックがなくなり、家族が安心して立ち会える
- お産の疲労から早く回復できる

当院で行う無痛分娩は硬膜外鎮痛法です。そのため陣痛が弱くなりやすく陣痛促進剤や吸引分娩が必要となったり、硬膜外穿刺に伴う合併症（硬膜穿刺後頭痛、血腫形成による神経障害など）のリスクがあります。

当院では安全な分娩管理を行うために、無痛分娩症例は全例「計画分娩」としてしています。硬膜外無痛分娩をご希望される場合は、妊娠34週までにご紹介ください。

費用 分娩費用 + 49,000円 (10時間まで) その後1時間毎に3,500円加算

* 硬膜外無痛分娩ができない症例

- 児頭骨盤不適合など帝王切開術分娩の絶対適応がある場合
- 腰椎の変形や脊髄神経の異常がある場合
- 血小板減少や血液凝固系の異常がある場合

問合せ先 産科婦人科外来 TEL:0853-20-2389

お知らせ

島大病院ニュース

平成27年2月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>

